

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-25℃ ~ +85℃			保存温度範囲		-10℃ ~ +60℃			
	電圧		AC 150V , DC 200 V								
	電流		2 A			適合ケーブル		MAX φ5			
性能											
	項目	試験方法				規格				QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○
	表示	目視にて確認する。								○	○
電気的性能	接触抵抗	単位コネクタを DC 1 A で測定する。				10 mΩ以下				○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。				1000MΩ以上				○	○
	耐電圧	AC 500 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○
機械的性能	コネクタの挿抜力	—— 鋼製ピンで測定する。				挿抜力 —— N				—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。但し、ロック機構を含む。				挿抜力 25 N以下				○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。				単位コネクタの接触抵抗: 15 mΩ以下				○	—
性能	耐振性	周波数 10~ 55 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 — m/s ² で3方向各2時間試験する。				①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms 正弦半波3方向各3回試験する。				①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 40 °C, 湿度90~95 %中に96時間放置する。				①絶縁抵抗: 5 MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 50 MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15 分 を5サイクル試験する。				①絶縁抵抗: 1000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。				はなはだしい腐食がないこと。				○	—
	耐熱性	温度 +85 °C中に96時間放置する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐寒性	温度 -55 °C中に96時間放置する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃で3~4秒間ソルダ・ボット部へ当てる。				外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。				○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で2~3秒間のはんだ付けを行う。				はんだ付け面がはんだでぬれていること。また、はんだの小塊がないこと。				○	—
備考						製図	設計	検図	承認	出図	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.						製品規格表			製品名 HR10-7J-4P (73)		
旧CL CL		図番 SLC4-007763-73				製品コード CL110-0028-5-73				1 1	